

令和7年2月1日

乳牛市況情報

(毎月1日現在)

全農酪農部
ホクレン酪農部

《前月の動き》

1月については、春分娩中心の出回りとなったものの、急激な初妊牛価格の上昇による様子見感の広がりにより、平均価格は591千円（前月比11千安・前年比29千円安）とやや値を下げた。

《参考》 1月乳牛専門市場初妊牛取引価格帯

単位：円・頭・%

価格帯	~500,000	~550,000	~600,000	~650,000	~700,000	700,001~	合計
出場頭数	766	504	496	481	467	460	3,174
成立頭数	597	449	449	465	463	459	2,882
取引率	77.9	89.1	90.5	96.7	99.1	99.8	90.8

※令和7年1月開催市場分より価格帯表示を変更しております。

《今後の動き》

2月については、春産みの出回りが本格化し、一定の導入需要が見込まれることから、相場は強含みで推移することが予測される。

《予想相場》

単位：千円

種別	ランク	極上	上	中
	育成(8~12ヶ月令)		>350	350~300
初妊		>700	700~640	640~580
経産	2~4産	>400	400~350	350~300
	5産以上	300中心		

※予想相場はET移植以外の登録牛を対象としています。